

民報あばしり

NO. 918
2013.5.12
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三、四四五八
F 四三二、四四五七

国民平和大行進

網走コース出発!



どは、あまりにも無責任との声も出され
ました。
憲法問題では、長島茂雄氏と松井秀喜
氏の国民栄誉賞の授与式での安倍首相の
背番号96というパフォーマンスは、憲法改
悪への姿勢を明確に示したのではないが、
この危険な安倍内閣に対して参院選で打
撃を与えようとの声も出されました。
最後に通し行進者の松尾多加正さんか
ら決意表明があり、リレートークを終了
し、エコーセンター前から小雪がちらつく
中、元気良く駅前まで行進しました。

国民平和大行進が

北見へバトンタッチ

通し行進者の松尾さんは、7日午前9時
から飯田・松浦議員とともに網走市議
会議長を訪問し、ペナントに署名と行進
の激励を受けました。

その後、大空町、美幌町を訪問し、正
午には北見市に無事引き継がれました。



5月7日午後1時から原水爆禁止網走
協議会に結集する労働組合・民主団体と
一般市民が集まり出発式を行いました。
各団体によるリレートークでは、4月24
日NPT（核不拡散条約）再検討会議で
採択された「核兵器不使用」の共同宣言
に、世界で唯一の被爆国である日本の政
府が、署名を拒否したことを厳しく批判
し、核兵器は人類と共存できないことな
どが話されました。
また、安倍内閣が進めてきたアベノミク
スは、誰が利益を得ているのか、庶民は円
安で物価が高騰し暮らしが大変だ。さら
に、原発問題では、福島原発事故の原因
がいまだに分かっていない、収束の目途も
立っていない中で、再稼働の動きが強めら
れ、中東（トルコ）への輸出を約束するな

松浦奮戦メモ

寒い寒いゴールデンウィークが終わりりましたが、私にとつては過去最大の散々な連休でした。
4日の日は急患もなく比較的楽な一日でした。この日は、寝酒を飲んで寝ることに。夜中の2時半頃に寒くて目が覚めました。布団の中で寒さに震え「突然の熱だからインフルだろう」と水分を補給して朝までまちました。

朝、我が家の仕事をふらつきながら終わらせ、当番医
院へ行き熱を測ると39度1分、看護師が大熱ですわねと。
問診で喉も痛くない、咳もない：うーん？ 高熱と脱
水があるので、血液検査と点滴をすることになりました。
しばらくして医師が、血液検査の結果、白血球が減っ
ていないのでインフルエンザではない、逆に増えているので、
どこかに炎症があると思われる、とのこと。明日も改善
がなければ当番病院に行くようとの指示でした。
治療のかがあり、翌日は、お腹が痛いだけで平熱に近
くなり、8日には普通の身体になりました。つらい連休！

いっせ東奔西走

悪天候で大変だったゴー
ルデンウィーク後も、お天
気さんの「いじわる」は続
いている。農家の方は、「お
でんとう」さんは顔を出さず、大地は湿ったまま
畑に入れない日々。イライラは募るばかりとか。今
後、晴れたとしても農作業の遅れは必至で、収穫に
影響するのが心配です。
もう一つ、夏タイヤに変えてしまった人が運転出
来ない状態に戸惑っています。再度冬タイヤにする
か、歩くかタクシーを使うか、どちらにしても悩む
ことしきりです。さらにスポーツ関係にも大きな影
響がでています。
外で行うスポーツはグラウンドなどが使えず、練習
出来ず、しかし大会は近いので気持ちは焦るばかり。
特に高校生関係の大会は全道、全国大会出場に影響
するため、なおさら焦っているとか。天気の影響を
祈るばかりです。
この悪天候は、私たち夫婦の健康・体力づくりにも
影響しています。
「天気になつたら歩こうか」という気持ちだから
なかなかスタートできません。
早く天気になーあれ!

流水

Tさんに声を掛けられ、ピース
卵を生産している杉村農園に
出かけた。4月末にやってきた
240羽のヒヨ子たち（キジ鳩
のデデ・ポポの声を聞いてデ
デ子と命名）が、ピヨピヨ、ピヨピ
ヨと温室から出入りをしながら大事
に保護されていた。薄茶の羽がちょこ
んと両側にくっついていてなんとも可
愛い！手の平に乗るヒヨ子の体温が
相乗するのか、じつとする。今、玄
米を食べて成長、10月からの産卵を、
楽しみにする。▼今、運んでもらっ
ている卵の生み親”お萩”の鶏舎に
入るとき、石灰で長靴の底を消毒し
た。「問題のウイルスが鶏舎に入らな
いよう心がけているが、絶対はない。」
と言う姿勢に信頼を深くする（原発
は絶対だった）。お萩達が卵を産む
清潔なそば殻が入っている箱が地面
から50cm程上の棚に多数置かれてい
て生みたての卵のぬくもりが残る。コ、
コ、コと歩き回るお萩たち▼羽が欠
損している2、3羽が気になった。ア
ンデルセンの”みにくいアヒルの子”
のように、少し羽の色が違うだけで
つかれるのも自然だから。▼TPP
問題が、自然環境で、えさのほとん
どを国内産で自家配合し産み出され
た”卵かけご飯”の味を、大きく左
右する。これからも安心して食べた
いから、TPPを捉え、反対する。(て)

